

全国社会福祉教育セミナー2025

ユニット研修企画(オンデマンド)

福祉専門職を養成する多くの学校にとって、「学校の生き残り」と「地域の福祉人材の輩出」は大きな経営課題となっています。また、ソ教連の模試受験者(卒業年次生)への調査結果では、実習の経験が就職に与える影響が大きいという結果が出ています。今年度は[「全国社会福祉教育セミナー2025in石川」と連動した企画として、2ユニット(2つのテーマで各4コマ)の研修を行います。ユニット研修でテーマを多角的に学び、全国セミナーのセッションでさらに深める企画です。

皆様のお申込みをお待ちしております！

(敬称略)

● ユニット1. 『福祉系大学の経営危機を乗り越える ～10年後、自分の大学は生き残っているか』

- 1 「ソーシャルワーク教育を取り巻く現状と課題」 中村 和彦(ソ教連会長、北星学園大学学長)
- 2 「中教審答申「知の総和」を読み込む」 森 朋子(桐蔭横浜大学学長、中央教育審議会委員)
- 3 「令和7年度私立大学・短期大学等入学志願動向から(ソ教連会員校の状況分析を含む)」
辻橋 直宏(日本私立学校振興・共済事業団)
- 4 「ソ教連会員校の状況」 伊藤 新一郎(ソ教連常務理事、北星学園大学 教授)

● ユニット2. 『ソーシャルワーク実習学生を就職に 呼び込むには』

- 1 「ソ教連の会員校学生の就職等意向」 伊藤 新一郎(ソ教連常務理事、北星学園大学教授)
- 2 「福祉の就職活動戦線異状あり」 大庭直子(武蔵野大学 社会福祉学科進路相談室
キャリアカウンセラー)
窪島 渚(武蔵野大学 キャリアセンター)
- 3 「実習の受入れと人材確保の現状」 菊地 月香(全国社会福祉法人経営者協議会 研修委員長、
社会福祉法人同愛会理事長)
- 4 「地方の福祉人材確保の現状とこれから」 大原 裕介(ソ教連理事・社会福祉法人ゆうゆう 理事長、
学校法人東日本学園理事)

実施方法:期間限定型オンデマンド配信(11月～12月上旬)

申込方法:特設サイトからお申し込みください(オンライン申込のみ)。

参加費:13,200円(1ユニット)(60～90分×4コマ)

特設サイト➡

定員:150人(1ユニット)

詳細(特設サイト):<https://jaswe.jp/2025seminar/index.html>

問合せ先:日本ソーシャルワーク教育学校連盟事務局

問合せフォーム➡

電話:03-5495-7242



※ユニット研修のみ(全国社会福祉教育セミナーに不参加)でもご参加いただけます。
※ユニットごとにお申込みになりますので、いずれかのみの参加でもOKです。
※都合により企画が一部変更になることがあります
※詳細情報は随時特設サイトを随時更新しますのでHPやマナブルをご確認ください